

案件名 武豊町下水道事業経営戦略（案）

募集期間 令和7年1月10日～令和7年2月10日

担当課名 上下水道課

番号	件数	意見の概要	町としての考え方
1	1	<p>上下水道の利用料金は、値上げするべきだと思います。</p> <p>人口減少、節水商品の普及、物価高騰など、要因はいろいろあるかと思いますが収支プラマイゼロとかわず、少しずつインフラメンテナンスの費用が積み上がる絶妙な料金を設定していただきたいと願っています。</p> <p>また、良いインフラ環境が永続的に続くことを願っております。</p>	<p>料金改定については、今後、審議会を開催するなどして慎重に検討を進めてまいります。現時点においては、将来のメンテナンス費用に相当する減価償却費を含め、下水道使用料で賄うべき費用をすべて賄えるような料金設定が必要と考えております。</p>
2	1	<p>願わくば、武豊町民の皆様が「突然、料金が上がった」ということにならないように様々なメディアを通して、事前の周知徹底に力を入れて欲しいと願っております。</p>	<p>料金改定時の周知方法については、現段階で決定しておりませんが、十分な周知期間を確保し、適切な方法で町民の皆様にお知らせするよういたします。</p>
3	2	<p>水洗化率を高めることで使用料収入を増やす旨の記載がございます。</p> <p>未水洗で残っている世帯がどのような環境なのか疑問に思いました。</p> <p>例えばですが、集落や主要道路から離れているなど、既存下水系統から離れた建物が残っている場合、下水延長に伴う工事費、維持費と比較し、それによって水洗化される世帯数が少ないと使用料が十分に得られず赤字化する可能性もあると思います。</p> <p>すなわち、現在浄化槽などで妥当に運用されている世帯はあえて指標に載せず、すでに当該地域が下水整備</p>	<p>水洗化率は、現在処理域内人口のうち実際に下水道により汚水処理をしている人口の割合です。ここでいう現在処理区域は、すでに下水道が整備されている地域であり、原則として区域内の全世帯が下水道に接続することを目指しております。このことを明確化するため、「現在処理域内人口」の定義について記載を追加します（4-18 ページ）。</p>

		<p>済みにも関わらず未接続の世帯数を指標にするなど、使用量収入アップに直接つながる KPI で管理されるとよいと感じました。</p>	
4	2	<p>資料を拝見し気になったのは、寿命がおよそ15～20年の電気機械設備であるポンプについて、寿命超過したものが多数あることです。</p> <p>これからの使用量収入減も見据えると、初期に同時に導入したポンプが一斉に更新必要となることのないよう、計画的に時期をずらして投資、整備を検討されるとよいと感じました。</p>	<p>公営企業の健全な経営上、更新費用の平準化は重要な事柄であると考えております。令和6年度現在、老朽化施設を計画的に改築・更新していくための長期的な計画である「ストックマネジメント計画」の全体計画を策定中です。今後策定予定の実施計画とあわせて、ストックマネジメント計画に基づく長期的な更新費用の平準化を図ってまいります。</p>
5	2	<p>先日埼玉県八潮市で発生した痛ましい事故も踏まえ、下水管、特に集合部の材質は気になっております。</p> <p>資料を拝見し、多くが耐腐食性のある塩ビ管ということで安心しました。</p> <p>また、現在埼玉県では幹線管の破損により広域的に影響を受けており、可能であれば主要幹線を二重化するなど、冗長性を高める整備をしていただくと大規模災害によるリスク分散も含め、なお安心が高まると感じました。</p>	<p>経営戦略は公営企業の経営に関する計画であるため、直接の記載内容からは外れますが、災害に備えた安全な下水道の整備については、ご指摘の内容も踏まえて今後も検討を続けてまいります。</p>